



本校のキャラクター「よこくん」

## プール開き！ 水泳の学習を始めました！

6月7・8日にプール開きを行いました。子どもたちは待ちに待ったプールに嬉しそうでした。プール開きでは、子どもたちがはじめや終わりの言葉、司会などを役割分担して式を進行しました。また、各学年の代表による今年の目標発表などのほか、私からも水泳の授業の目的について話をしました。



プール開きのワンシーン！

水泳の授業は、子どもたちが命を守るために、水に慣れ、泳力をつけるために行う大切な授業です。一方、水泳の授業は、他の授業に比べ危険もあります。したがって、気温や水温が低い場合などは中止としますし、安全な水泳授業のため次のような取り組みをしています。

(1) 全教職員による研修の実施：佐藤（え） 養護教諭が計画・準備

①児童が溺れた時の対応訓練を実施し、訓練後、より良い具体的な対応策を話し合いました。

②心肺蘇生研修用の人形とAEDで、全員が経験する心肺蘇生研修を実施しました。

(2) プールカードの活用：体育担当の竹本先生が提案

子どもの体調管理を行うプールカードは、事故防止の観点からも重要です。プールカードの記入や保護者印がない場合などは見学になります。記入・押印・提出をお願いします。



竹本先生の心肺蘇生のお手本

(3) 指導者プラスワン

本校では、1・6年、2・5年、3・4年が合同で水泳の授業を行います。その際、担任以外にもう一人、児童の見守り役として職員を一人つけて事故防止に取り組みます。

**楽しく安全な授業の中、命を守る力をつけてくれるよう願っています！**

## マスクの着用について

夏季におけるマスク着用については、熱中症のリスクを回避するため、

①体育の授業 ②運動部活動の活動中 ③登下校時 に関しては、

マスクを外すこととなります。マスクを外した場合は、

①できるだけ距離をとる ②近距離の会話を控える ③体育館等の屋内の場合は換気を徹底する という対応をします。子どもたちには、学校で話をしてまいります。登下校時についてはご家庭でもお話をお願いします。

また、上記①～③の場合以外では、原則としてこれまでと同様にマスクの着用としますが、活動の場所や内容、気温などの状況によっては、熱中症対策のためマスクを外す場合もあります。ご理解をお願いします。なお、ご質問等ございましたら学校までお願いします。

## 「さすがは山東小の子どもたち！」の2つの話

### 1つ目「荒らされた花壇を直す子どもたち！」

5月のある日、「花壇を荒らした子どもがいました。しかし、その荒らされた花壇を直してくれた子どもたちもいました。」と電話がありました。下校前に子どもたちに、心当たりがある人は後から言いに来てくださいと問いかけました。

すると、「花壇を直しました」と6年生の上野天花さん、大城戸翔愛さん、奥羽愛加さんがきました。3人は、誰に言われたわけでもなく、荒らされた花壇があったので直したそうです。

「さすがは山東小の子どもたち！」 ちなみに花壇を荒らしたことに関しては、誰も来ませんでした。山東小の子どもとはもちろん限りませんし、山東小の子どもではないと願っています。

### 2つ目「横断歩道で止まった車にお礼を言う子どもたち！」

6月のある日、「サッカーボールを持った小学生が横断歩道にいた。車を止めると、小学生は横断歩道を渡った後に、くるっと振り返りお礼を言ってお辞儀をしました。とても気持ちよくなりました。」という話がありました。

集団登下校時には、渡った後には止まった車にお辞儀をしましょうと指導はしていますが、登下校中ではなくても、できていることがすごい「さすがは山東小の子どもたち！」 下校前に子どもたちに聞いてみましたが、誰も名乗り出てはきませんでした。

### 辞書早引き王決定戦 2022！

5月30日（月）、3年生以上の自由参加のもと、第2回目の辞書の早引き大会が行われました。

第1回目より参加者が多かった第2回目でした。その激闘を制し、第2代辞書王の栄冠を勝ち取ったのは6年生の天貝一心さんでした。写真は、決勝に残った5年生の井上都華さんと竹本先生との3ショットです。早引き大会について、詳しくは「図書だより6月号」をご覧ください。



### ごみ収集車（パッカー車）が登場！

日ごろから草刈りなどで環境美化に取り組んでいる松村先生が、プール掃除の後や校庭の木の剪定後などに出た大量の草や木の枝を処理場まで、ごみ収集車（パッカー車）で運んでくれました。吉松小と鹿南中から先生が来られて、木の伐採や積み込みなどを手伝っていただきました。感謝です！

また、4年生では、社会の授業で、「私たちのくらしとごみ」について学習していたので、ごみ収集車（パッカー車）への積み込みを見学しました。次々と木の枝などが取り込まれていくところに、子どもたちは興味津々の様子でした。

